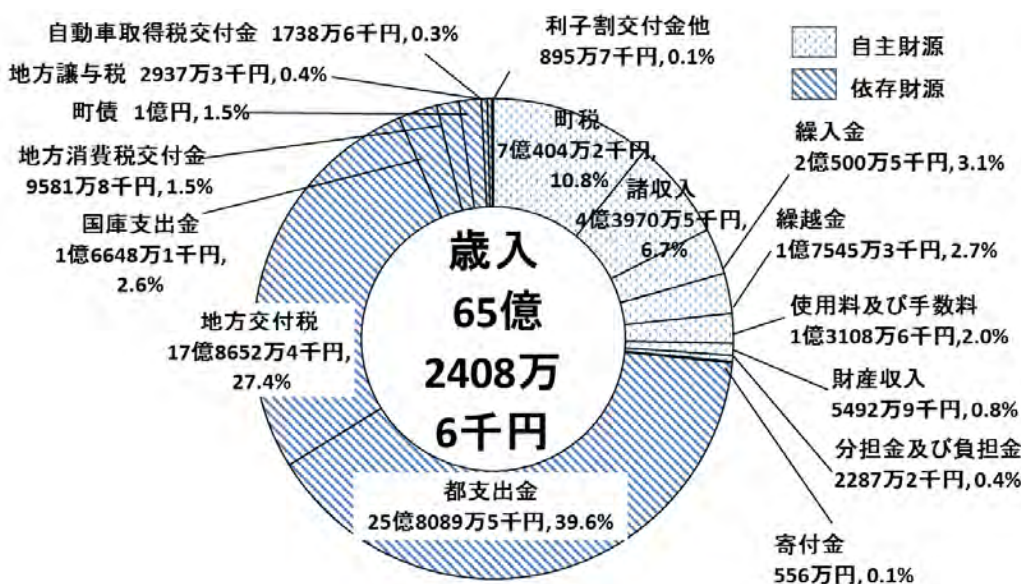


## 平成30年度決算が認定されました

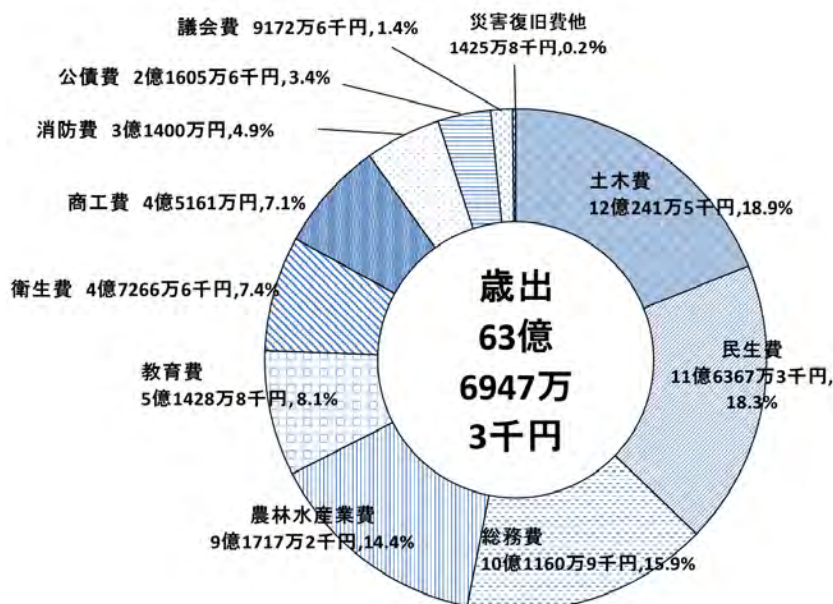
平成30年度決算が町議会9月定例会で認定されましたので、主な内容をお知らせします。

【一般会計】平成30年度の一般会計決算額は、歳入が65億2408万6千円、歳出が63億6947万3千円で、収支差引額は1億5461万3千円となりました。前年度に比べて、歳入額は0.1%の減、歳出額は0.2%の増となっています。また、平成30年度から平成29年度の実質収支額を差し引いた単年度収支額は△2084万円となっており、主な内容は、つぎのとおりです。

### 【平成30年度一般会計決算額および構成比】



【歳入】町の財源で最も大きいのは前年度同様、都支出金で歳入全体の39.6%を占めています。次いで地方交付税が27.4%です。これら依存財源合計は、約48億円で、歳入全体の73.4%に達します。自主財源である町税は3番目の財源ですが前年度から約2千万円・3.0%の減となりました。



【歳出】民生費は約6千万円・5.7%の増で、主には介護給付費の増による介護保険特別会計等への繰出金の増によるものです。商工費は約4千万円・10.4%の増で、主に観光施設整備事業費の増によるものです。総務費は約1億9千万円・15.5%の減、財政調整基金や減債基金への積立金が減ったことによるものです。また、公債費は約9百万円・4.1%の減で順調に債務が減っています。